中央大学
Chuo University



「Chuo Vision 2035」で改革を加速
「行動する知性」を育成する
「さらに開かれた中央大学」に進化



河合 久学長（かわいひさし）

1981年中央大学商学部卒業。83年同大学大学院商学研究科博士前期課程修了。中央大学教授、商学部長、副学長などを経て2021年より現職。

SUMMARY

1885年の創立以来、中央大学は「實地應用ノ素ヲ養フ」という建学の精神のもと、白門を象徴する伝統と実績を140年余りにわたって築いてきました。その理念は、ユニバーシティメッセージ「行動する知性」として受け継がれ、激しい社会環境の変化を的確に捉えた改革を推進しています。

2026年度からは、中長期事業計画「Chuo Vision 2035」がスタート。2026年度の理工学部再編による3つの理工系新学部の開設に続き、27年度にはスポーツ情報学部の開設および経済学部の学科再編、28年度には情報農学部（仮称）の設置を構想するなど、中央大学の魅力と競争力をさらに向上させ、世界に存在感のある「さらに開かれた中央大学」への進化を目指しています。



スポーツ情報学部 特設サイト

01 2027年4月 スポーツ情報学部を開設

近年、スポーツ分野ではデータに基づく戦術立案や選手評価、マーケティング戦略の考案、さらにはAR技術を利用した観戦体験の高度化など、AIやデータサイエンスの活用が急速に進んでいます。こうした中、中央大学では2027年4月、多摩キャンパスに「スポーツ情報学部」を開設します。データサイエンスとビジネスを融合した文理横断型教育を通じて、スポーツを切り口にAI・データサイエンスに関する知識や技術を修得。データを適切に分析し、本質的な課題を見極めて解決策を企画・実装する力を養い、ウェルビーイングな社会の実現に貢献する人材を育成します。

スポーツ情報学部は、スポーツ情報学科の下に2つのコースを設置します。そのうちの「データサイエンスコース」では、スポーツの現場で生まれる多様かつ複雑なデータを対象に、統計学やAI、モデリングなどのデータサイエンスを体系的に学修。データを分析・可視化し、社会や現象を科学的に理解するとともに、新たな知見を創出する力を養います。一方、「スポーツビジネスコース」ではスポーツ産業を中心に、デジタル技術やデータを活用した新たなビジネスモデルを探究。経営学を基盤に、データに基づく課題発見・解決から、分析結果を実社会で活用するための企画・実装までを実践的に学び、社会や市場に新たな価値を創造する力を修得します。

学内外の団体と連携したPBL（課題解決型学習）も大きな特色です。スポーツ関連企業や自治体、地域団体などと連携し、イベントプロデュースやスポーツアナリティクス、スポーツツーリズムなどをテーマとした演習・実習を予定。実践的な課題解決力と協働力を培います。

卒業後は、スポーツデータサイエンスやスポーツビジネスの専門性を生かし、IT企業やスポーツ関連企業、コンサルティング会社、NPO法人、スポーツ団体・競技団体など、データを活用して新たな価値を創出する幅広い分野での活躍が期待されます。

02 経済学部は2学科体制へ 学びを体系化し教育を充実

環境問題や経済格差、国際情勢の変化、デジタル技術の進展など、社会課題が複雑化する中、経済学には理論だけでなく、データや制度、現場を多角的に捉え、本質を見極める力が求められています。こうした時代の要請に応えるため、経済学部は2027年4月、現在の4学科を「経済学科」と「社会経済学科」の2学科4コース制へ再編します。経済学と関連分野を体系的・専門的に学ぶ教育体制を充実させ、「深化」と「進化」を実現。両学科とも、1年次に幅広い学びを通して関心領域を見極め、2年次からコースを選択し、複雑化・多様化する社会課題に対応する実践力を養います。

経済学科は、「経済政策コース」と「国際経済コース」の2コースで構成されます。ミクロ経済学・マクロ経済学を基盤に、データサイエンスやデジタル技術も取り入れた世界標準の学びを展開。理論とデータを駆使して企業・産業・国際経済・環境問題などを分析し、課題の本質を見抜き、政策提言へと結び付ける高度な分析力を養います。アナリストやデータサイエンティストをはじめ、社会の変革を担う人材の育成を目指します。

社会経済学科には、「社会経済コース」と「地域・マネジメントコース」を設置。ミクロ・マクロ経済学に加え、マルクス経済学、経済史、制度論、経営・会計、統計学まで幅広く学修します。さらに貧困やマイノリティ、ジェンダー、地域格差などの課題をテーマとしたフィールドワークを通じて、多様な立場や価値観への理解を深めます。現場で課題を発見し、最適な解決策を導き出す実践力を養い、地域社会や企業の持続的な発展に貢献できる人材を育成します。

冷静な分析力と豊かな人間性、そして国際的な視野を兼ね備え、変化の激しい時代に社会の発展を支える「真価」を発揮できる経済人を育成していきます。

03 農業×テクノロジーで 新しい農学教育を展開

日本の農業は、人口減少や担い手の高齢化、耕作放棄地の増加、気候変動への対応、食の安定供給など、多くの課題に直面しています。こうした課題を、ドローンやロボティクス、AI、フードテックなどの先端技術を農業に活用する「AgriTech（アグリテック）」によって解決し、持続可能な社会の実現に貢献する人材を育成するため、2028年4月、多摩キャンパスに「情報農学部（仮称・設置構想中）」を開設予定です。

カリキュラムでは、作物学や土壌学、植物生理学などの農学の基礎を学んだうえで、データサイエンスやAI、ロボティクスなどの情報科学を融合した先進的な教育を展開。さらに、法的素養や国際感覚なども学ぶ文理横断・融合教育により、農業・環境・食料をめぐる複雑な社会課題に挑むことのできる人材を育成します。



情報農学部（仮称） 特設サイト

※情報農学部（仮称）の記載内容は設置構想中のものであり、今後の検討により変更する可能性があります。

中央大学
〒192-0393　東京都八王子市東中野742-1
入学センター　TEL 042-674-2144
https://www.chuo-u.ac.jp/connect/

受験生ナビ　大学HP


多摩キャンパス FOREST GATEWAY CHUO


後楽園キャンパス 新1号館


市ヶ谷田町キャンパス


茗荷谷キャンパス

PICK UP　新たな伝統を紡ぐ　そして次の150年へ
Toward the 150th, and Beyond

建学の精神　「實地應用ノ素ヲ養フ」　～ジッチオウヨウノ　ソヲ　ヤシナウ～

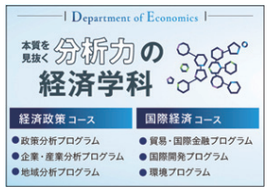
Mission　文化の創造・発展と社会・人類の福祉に貢献する教育研究を推進し、「行動する知性（Knowledge into Action）」を備えた人材を育成する

Vision 2035　創立150周年である2035年度の本学のあるべき姿をVision2035とする

Vision 1	Vision 2	Vision 3	Vision 4	Vision 5
創立150周年に向けた中大ブランドの継承と新たな価値創造	予測困難な時代に求められる力を育む「実学」教育を通じた人材育成	伝統が育んだ「知」を結集した研究の推進と社会との共創	誰もが個性と能力を発揮できる場の創出	学内リソースの結集によるシナジーの最大化

中長期戦略　「Vision 2035」を達成するため、各 Vision ごとに定めた戦略を**中長期戦略**とする

中長期計画　「中長期戦略」を実現するため、各戦略ごとに定めた具体的な取組みを**中長期計画**とする





経済学部 特設サイト